

価値創造ストーリー | バリューチェーン上の強みとマテリアリティの取り組み

当社グループは、研究開発、調達、ものづくり、販売、それぞれのプロセスにおける強みを活かし、SDGs対応のためのマテリアリティに沿った取り組みを推進しています。「新しい技術の創造と新商品の開発を通じて国際社会に貢献する」という企業理念に基づき事業活動を展開する中で、バリューチェーンにおいて価値を生み出し、持続的な成長につなげています。

マテリアリティ			
目指す未来に向けた社会課題の解決への貢献		ESG経営を支える基盤	
1	気候変動への対応	5	資源循環・汚染防止
2	自然エネルギーを利用した持続可能な社会の実現	6	製品・サービスの信頼性向上 (品質保証・安定供給)
3	エネルギーロスの低減	7	環境・社会を重視した調達活動
4	安全と快適の提供	8	労働安全衛生の推進
		9	人権の尊重
		10	人材育成
		11	ダイバーシティの推進
		12	コンプライアンスの徹底
		13	ガバナンスの強化

新たな研究開発テーマにつなげる

研究開発

基盤技術の深耕・深化による既存商品の価値向上と事業環境の変化をとらえた新たな領域の商品開発を通じて、持続的成長に向けた技術基盤を構築しています。

自動車分野では、電動化に資する商品開発を進めており、電動駆動ユニット製品の小型化によるモータの高速回転に対応した「EV・HEV用高速深溝玉軸受」のさらなる高速対応として、dmn値*220万を達成した軸受を開発しました。

産業機械分野では、生産現場でのロボットの活用が加速し、作業動作が多様化しています。ロボット関節部の回転速度や方向、絶対角度を検出可能な「複列磁気エンコーダ付転がり軸受」を開発し、関節部の動作精度の向上や、部品点数の削減を可能としました。

新たな領域の事業分野では、既存の転がり軸受に発電ユニット、無線デバイスを内蔵し、温度・振動・回転速度の情報を無線送信する「しゃべる軸受®」を開発し、設備の高度な状態監視の実現に貢献します。

*dmn値:軸受の回転性能を表す指標で、軸受ピッチ円径(mm)×回転速度(min⁻¹)

調達

日本国内において、海外の取引先さまからの調達が進み、グローバルでの取引が拡大しています。

SDGsの各目標に対応して制定された調達基本方針に従い、グローバルな視点から、現地調達、最適地調達の推進に取り組むことで、国際的で開かれた調達を追求し、品質・価格の優位性や納期の確実性を重視しながら、市場変動に即応した安定調達を目指します。また、法令倫理規範を遵守し、公平・公正な取引を行うことで、お客さまや社会からの信頼を確実にするだけでなく、取引先さまの競争力を向上させ、取引先さまとともに「持続可能な成長」を続けていきます。

環境法令の遵守、環境保全への取り組みを行っている取引先さまから環境負荷の低減に配慮した調達を行う「グリーン調達」を推進することで、「持続可能な社会・環境」の構築に貢献します。取引を通じて取引先さまとの相互理解を深め、信頼に基づいた共存共栄を図っていきます。

ものづくり

生産改革として物流も含めた全体を最適化する整流化を推進し、在庫削減・リードタイム短縮によるスループット向上に取り組んでいます。工場はDXを推進し、効率良く情報収集・分析して問題を見える化し、迅速に改善して生産性の向上を図っています。また、カーボンニュートラル達成に向けて低炭素なものづくりを推進し、企業価値および顧客満足度の向上と利益創出につなげていきます。

品質面では、開発段階から製造工程、そしてお客さまへ商品を届けるまでの「プロセス」において、安定した品質確保に努めています。特に各ステップでのデザインレビューや変化点発生時の潜在的リスクの分析強化、製造拠点の品質監査を行うことで、会社全体での「品質の造り込み」をしています。海外における生産立ち上げ時は、リモート監査を取り入れ、工程改善や現地従業員への品質指導を行うなど、グローバルで品質保証体制の確立を推進しています。

販売

自動車市場において急速に進むEV化、産業機械市場での電動化ニーズの高まりに対し、お客さまの新商品開発に沿った高付加価値なモジュール商品やIoT技術を活かし軸受で状態監視を行う風力発電装置向けサービス・ソリューションを提供するなど、コンサルティング型の営業活動を展開しています。また、現在量産中の既存機種向けでは、刻々と変化する世界情勢の中でグローバルでの安定供給に向けたきめ細かい対応に努めています。アフターマーケット市場向けではモノの販売にとどまらずベアリングの取り扱い方法の実演や勉強会などの技術サービスも展開し満足度向上を図っています。2022年度はコロナ禍が続く中でリモート形式による技術セミナーを国内外で300回以上開催しました。

外部環境のパラダイムシフトからお客さまのニーズが大きく変化している中、商品の高機能化と高付加価値化とともに、カーボンニュートラルに代表される持続可能な社会の実現に向けた貢献によりNTNブランド向上と顧客満足度のさらなる向上に努めてまいります。

価値を生む強み

生み出した成果

マテリアリティに即した取り組み

特許公開件数 **440件**
研究技術関連新聞発表 **15件**

現地調達比率 **70%**
サプライヤーCSRアンケート実施社数 **629社**

海外生産比率 **54%**
連結子会社品質マネジメントシステム取得率 **100%**

テクニカル・サービスカー訪問件数 **235件**
オンライン技術セミナー開催数 **335回**
顧客満足度調査「大変良い」「おおむね良い」の割合 **88%**

- 8 ●健康経営の推進 ●安心して働ける職場づくり ●労働災害の防止

- 10 ●働き方改革の推進 ●従業員のエンゲージメント向上のための職場づくり

- 11 ●女性活躍推進 ●障がい者雇用の促進 ●シニア層の活躍推進

- 12 ●コンプライアンスの徹底
- 13 ●ガバナンスの強化

3 ●自動車EV・電動化への省エネルギー ●製造設備の高効率化

2 ●ハードとソフトで風力発電の普及に貢献 ●水素化社会の到来に貢献

4 ●ロボット周辺モジュールの開発を通じて、生産現場の自動化、省人化に貢献 ●独立電源装置の提供を通じて、防災・減災に貢献

1 ●調達した部品や資材におけるCO2排出量削減 [スコープ3]

6 ●品質保証体制の構築 ●安定供給の基盤づくり ●安定供給のためのデジタル技術の活用

7 ●グリーン調達の推進 ●CSR調達の推進

9 ●サプライチェーンにおける人権リスク対応

1 ●製造におけるCO2排出量削減 [スコープ1] [スコープ2]

5 ●持続可能な資源の利用 ●環境負荷物質の管理、削減

6 ●品質保証体制の構築 ●安定供給の基盤づくり ●安定供給のためのデジタル技術の活用

9 ●従業員における人権リスク対応

3 ●軸受再生ビジネスの拡大

1 ●物流におけるCO2排出量削減 [スコープ3]

6 ●品質保証体制の構築 ●安定供給の基盤づくり ●安定供給のためのデジタル技術の活用

12 ●コンプライアンスの徹底

13 ●ガバナンスの強化